

9515

# 横山製陶株式会社

YOKOYAMA SEITO

|      |                      |        |                              |
|------|----------------------|--------|------------------------------|
| 事業所名 | 横山製陶株式会社             | FAX番号  | 0561-83-5536                 |
| 代表者名 | 横山浩治                 | Eメール   | yokoyama-seito@mbr.ocn.ne.jp |
| 所在地  | 〒489-0881 瀬戸市熊野町52-1 | ホームページ |                              |
| 連絡先  | 0561-82-4035         | 部会名    | 工業品部会                        |

1916年(大正5年)瀬戸の地に窯を聞き、手巻き外管から始まりノップ・クリートの手起こしだったものを半自動化、プレス化と進め手作り加工、プレス加工、押し出し加工などを経て現在の鑄込み加工を中心とした製作方法を現在も行なっている。戦後、電気の普及と共に碍子製品を供給してきた。

1960年代 糸道・シールオール・プラグなど、アルミナセラミックの高温焼結新素材(当時)も手掛けてきたが、更なる電気需要や一戸建て家屋の拡大の為、当社の基本である碍子の道を選択し、70~90年代を鑄込み製品の低圧用カットアウト・変圧器用碍子・引込み線等に力を入れ顧客のニーズに応えてきた。

1995年の電気事業法改正による自由化に伴い受注は急減し廃止する製品も出てきた為人員の大幅な削減を行った。

その一方2005年には建築用耐火物である溶接部材の焼成もはじめ新しい道を開拓しつつあったが、アメリカ発端のサブプライム問題による平成不況によりまた新たな道を開拓中である。この様な状況下に陥った事は取



引先が固定的である為、入ってくる情報が限られており、ニーズの把握や自社技術の活用方向が見出せなく、研究開発テーマの選定に苦慮しております。今後は試験研究機関や技術相談等の機会があれば極めて困難かも知れませんがコンソーシアムのメンバーに加わり、長期スパンでの研究を実施し、環境に苦慮した製品作りに挑戦し、取り組んでまいりますので皆様のご指導をお願いいたします。

